



関西大学 人間健康学部 ってこんな学部!

01 学科(専攻・専修・コース)

スポーツと福祉から健康を深く学ぶ2コース

02 特徴的な教育プログラム

多彩な体験学習でコミュニケーション力を育む(P.10)

03 教育体制

所属コースを問わず自由に受講できる人間健康学プログラム群

04 学びの環境

保健体育科教員、社会福祉士(受験資格)をはじめ取得可能な資格が豊富

05 地域連携

“ささえあい”“かかわりあい”の文化を学ぶ実践的教育

06 卒業後の進路

学びを生かした就職・進路を選択する学生が多数

人間健康学部の最新情報をチェックしよう!

学部ホームページ

さらに詳しい情報、最新のトピックスは「人間健康学部ホームページ」をご確認ください。学生の日や卒業生の声など、学部の魅力に触れるここだけの情報が満載です。

関大先生チャンネル

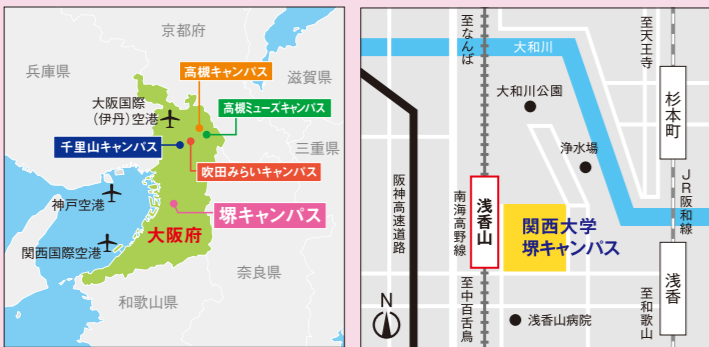
関西大学の教員が研究・教育活動について語る“知の動画アーカイブ”、それが「関大先生チャンネル」です。学部のみどころな先生の講義を体験!

関西大学の最新情報をチェックしよう!

関西大学 入学試験情報総合サイト **Kan-Dai web**

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大 入試 検索



南海電鉄でのアクセス
南海高野線「浅香山」駅(なんば駅から約20分)下車、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス
JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で、「なんば」駅下車、南海高野線に乗り換え「浅香山」駅下車、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス
大阪国際空港から空港リムジンバスでなんば駅前下車、南海高野線に乗り換え、「浅香山」駅下車、すぐ。

人間健康学部

人間健康学科

スポーツと健康コース

福祉と健康コース



「健幸」を通じて、 より良く生きる社会をつくる

人間健康学部では、「健康(Health)」と「健幸(Well-being)」を学びの中心テーマに掲げ、教育・研究、地域連携活動に取り組んでいます。

では、「健幸(けんこう)」とは何でしょうか? 「健幸」とは、「健康」と「幸福」を組み合わせた造語であり、単なる身体の健康にとどまらず、心身の健康とともに、人生における幸福を追求する考え方です。人が幸せで豊かな生活を送るためには、まず「からだ」の健康が不可欠です。しかし、それだけでは十分ではありません。ストレスへの適切な対処を含む「こころ」の健康や、生活環境に関わる「くらし」の問題にも取り組むことが重要です。

本学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的に捉え、個人の健康や幸福だけでなく、すべての人が健やかで幸せに暮らせる社会の実現をめざしています。そのために、多様な専門領域を横断的に学び、理論と実践を組み合わせながら「健幸」を探究していきます。

「健幸」を軸とした学びを通じて、自らの可能性を広げ、社会に貢献できる力を養ってください。本学部での学びが、皆さんの未来を切り拓く一歩となることを願っています。



人間健康学部長
弘原海剛 教授

こころ、からだ、くらしを「健幸」にする学び

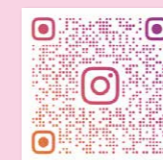
well-being

人間健康学部
Q&A
みなさんからのよくある
ご質問にお答えします。
下記の二次元コードからアクセス!



Follow Me!!

Instagram



CONTENTS

学部長メッセージ	02
人間健康学部8つの魅力	03
スポーツと健康コース	05
福祉と健康コース	07
人間健康学部のカリキュラム	09
国際的な学び	09
キャリアデザイン	11
人間健康学部で取得できる資格	11
就職実績	12
卒業生インタビュー	12
キャンパスカレンダー	13
堺キャンパス紹介	13
教員紹介	14

人間健康学部 8つの魅力



START!

人間健康学部に入学

1年次

魅力1

体験学習で互いにささえあう経験を積む
初年次教育

体験学習法を取り入れた、人間健康学部独自の少人数教育を通して、自分とは異なる考え方や感じ方をもつ人々と関わりながら、他者を尊重し、互いにささえあう経験を積んでいきます。

魅力5

興味を深く追求できる

スポーツと健康コース
福祉と健康コースの**2コース**

2年次生より、自身の興味や関心に応じて「スポーツと健康コース」もしくは「福祉と健康コース」に所属し、さらに専門的な学びを深めていきます。

スポーツと健康コース ▶ P.5へ

福祉と健康コース ▶ P.7へ

3年次

魅力4

2年次

各国の“well-beingのまなび”を体感
学部独自の留学プログラム

現地の施設などへ訪問し、国際的な「健幸(well-being)」について理解を深めることができる学部独自の留学プログラムを実施しています。

▶ P.9へ

魅力7

資格取得に強い!
保健体育科教員・社会福祉士をめざす絶好の環境

中学校教諭一種免許状
取得者数 **45人**

高等学校教諭一種免許状
取得者数 **49人**

社会福祉士国家試験
合格率 **97.8%**

※2026年3月卒業生実績 ▶ P.11へ

4年次

魅力3

興味・関心に応じて自由に受講できる副専攻
人間健康学プログラム群

スポーツと健康コース、福祉と健康コースの2つのコースに関係なく、4つのプログラムから興味・関心に応じた授業科目を自由に受講することができます。

▶ P.9へ

魅力8

就職に強い!

公務員・教員採用試験や社会福祉士合格者も多く、学部での学びを生かした就職・進路を選択する人が多いのが特徴です!

就職率 **99.7%**

※2026年3月卒業生実績 ▶ P.12へ

魅力6

堺キャンパスのある堺市と連携協力し、「ささえあい」・「かかわりあい」の文化を学ぶ実践教育を重視する、多彩な**地域連携事業**

生涯スポーツのすすめ(ピクセルボール体験・講習会)

地域 × 世代交流で楽しむ生涯スポーツ!

世界中で注目を集めているニュースポーツ「ピクセルボール」の体験・講習会を通して、年齢や経験に関係なく楽しめるスポーツの魅力地域の方々に伝えています。2027年に関西で開催されるワールドマスターズゲームズを見据え、健康づくりや世代を超えた交流を促進するとともに、地域に根ざしたスポーツ文化の醸成を目指します。学生は実践を通して、生涯スポーツが持つ価値や地域課題を学び、社会と関わる力を身に付けます。

「コンパッションコミュニティ」としての地域づくり

世代を超えてささえあいまちづくり

堺キャンパスを拠点に、地域の人びとと協力しながら、誰もが参加できるインクルーシブなまちづくりに取り組んでいます。「浅香山フェス」では、子どもから高齢者まで世代を超えて楽しめるイベントを企画し、地域交流のきっかけを創出しています。また、日常的に人がつながる仕組みとして野菜や花を育てる「エディブルケア浅香山」を展開しています。学生は地域住民やNPO、行政と関わりながら、実践を通してまちづくりについて学んでいます。

→ このほかにもたくさん**地域連携事業**を実施しています!

魅力2

堺キャンパスを拠点に多彩な**課外活動団体**が活動中!

堺キャンパスを拠点に活動する団体

- BLACKYZ(ダンス) ● Bumps(バスケットボール)
- 関西大学 K.S Hearts(サッカー・フットサル)
- 関西大学軟式野球サークル HUMANS(軟式野球)
- がんばりFLY HIGH(バレーボール) ● WEVO(ボランティア)
- いろは。(軽音楽) ● socias(バドミントン)
- p.t. KAYMO(舞踊・創作ダンス) ● TC Allegrone(テニス)
- 関西大学人間健康学部 準硬式野球部
- 人間健康学部祭典実行委員会(学園祭の企画・運営)
- 体育会 ソフトボール部女子 ※2026年5月現在

課外活動団体に所属する学生 **266人**
2025年度入学生 / 353人
※2025年4月現在

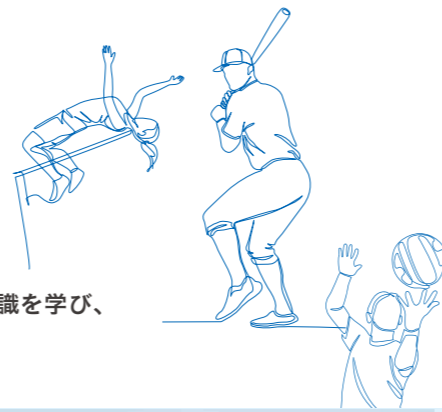
CONGRATULATIONS!

人間健康学部

を卒業

スポーツと健康コース

スポーツと健康コースでは、スポーツをはじめとする身体活動を通じて、人々が健康で幸せに暮らせる地域づくりに貢献できる人材の育成をめざします。身体に関する文化的・科学的な基礎知識に加え、健康や「健幸づくり」に必要な幅広い知識を学び、実践力と自ら行動する力を兼ね備えた人材を育成します。



スポーツと健康コース 4年次生
井ノ岡 沙耶さん
兵庫 / 県立兵庫高校出身

人を動かす力を磨き、
日本代表として世界に挑戦しました。

人間健康学部は少人数制の授業が多く、仲間と協力しながら学びを深めることができます。スタディスキルゼミや実技科目を通して、自然とクラスメイトとの交流が増えました。また、大学から新しいスポーツを始めたと考え、ラクロス同好会に入部。スポーツ運動学などの授業でパフォーマンスを上げる実践的な知識を学び、日々の練習に生かすことができました。3年次からはコーチングを学ばせ、人を動かす力とは何かをグループワークを通して研究。同じ3年次にラクロスU20日本代表に選ばれ、世界大会で女子史上初のメダルを獲得できたことも忘れられません。卒業後はベンチャー企業に勤める予定で、いずれはスポーツに関わる事業づくりに挑戦したいです。

学んだ理論をフィールドで
実践して、競技意欲を
高く保つことができました。



▶ 井ノ岡さんの4年間の学び

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>アットホームな環境で、仲間と協力することの大切さを実感。</p> <p>1学部1キャンパスなので、友達があっという間に増えました。スタディスキルゼミでは、キャンパス祭に向けて飲食店マップを作成するプロジェクトに取り組み、仲間と協力することの大切さを実感しました。</p>	<p>授業で学んだ理論をラクロスで実践するサイクルが完成。</p> <p>運動学の授業などで筋肉のつき方や関節の動きを学び、「ここを鍛えればパフォーマンスが上がる」と理論的に理解できるようになりました。自分の身体を科学的にとらえ、常に意識しながらプレーする大切さを実感しました。</p>	<p>スポーツと自分の関わり方を見直し、進路変更を決意。</p> <p>ラクロスに打ち込む中で、自身の将来像を見つめ直した結果、教員に限らずスポーツに多様な形で関わる道を志すようになりました。ラクロスU20世界大会終了後の秋から、進路実現に向けて本格的に就職活動に取り組みました。</p>	<p>アスリートの練習のリアルを卒業研究として取り上げる。</p> <p>卒業研究は「女子アスリートの月経調査」をテーマに、関大生150人にアンケートを実施。我慢して練習している人がどれくらいいるのか、個人競技と団体競技で傾向に差が出るのかを分析しました。</p>

井ノ岡さんの時間割をwebでも紹介しています。



PICK UP 講義

生涯スポーツ論

「スポーツを楽しむ」とはいったいどういうことでしょうか。年齢や体力、ライフステージによってスポーツへの関わり方や楽しみ方はさまざま、さらには個人の志向、好み、ニーズによって多彩に変化します。さまざまなスポーツへの関わり方と楽しみ方を学び、それらを効果的に啓発・推進し、個人および集団(市民)のスポーツ活動から多様な社会的便益を生み出すための推進策や方法論について学びます。



運動処方実習

「スポーツ生理学」で学んだ、スポーツ時における筋肉や神経、呼吸や心臓などの身体の反応や仕組みの知識をもとに、各種運動負荷試験の測定法やデータの評価方法、運動プログラムの作成や運動指導法など、個人にあった適切な運動を処方するために必要な知識や技術を実験・実習を通して実践的に学びます。



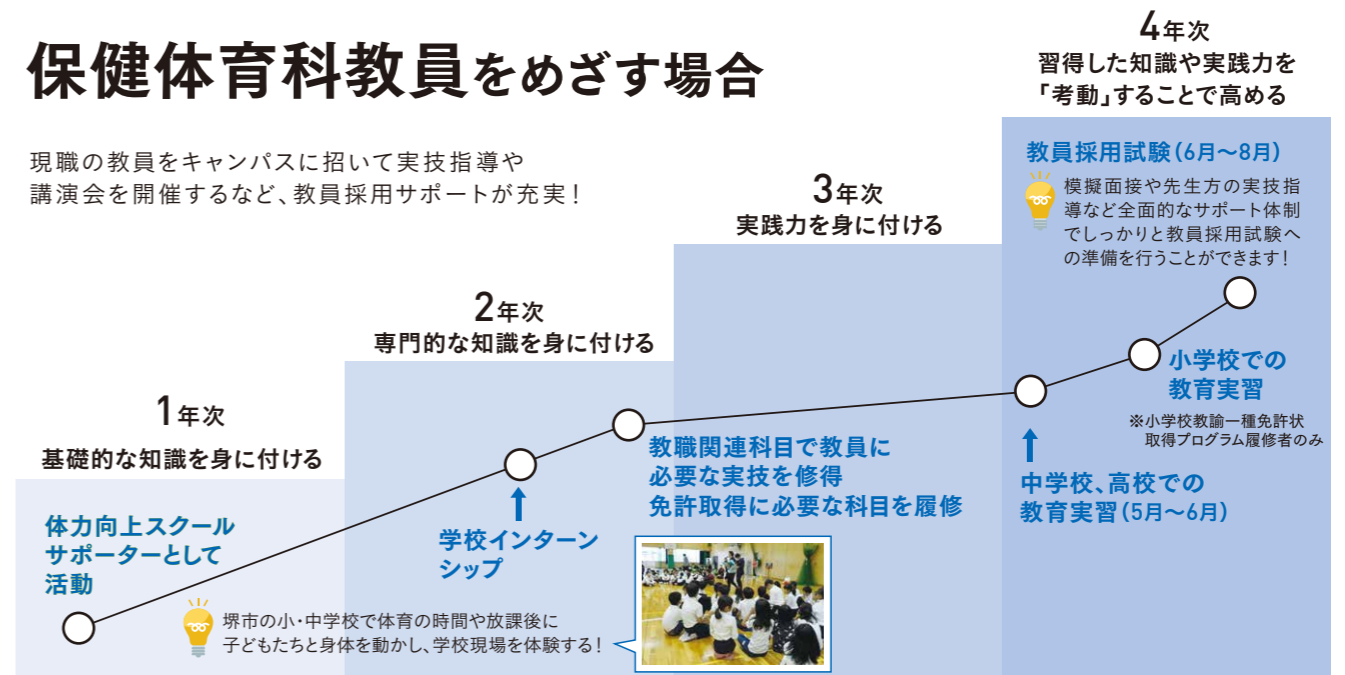
スポーツ動作の仕組みと制御

体育やスポーツの分野における走運動、力強い運動、巧みな運動などさまざまな身体運動を取り上げ、力学、生理学、解剖学などの基礎知識を応用して、各種運動の仕組みについて理解を深めていきます。また、各種スポーツ技術や身体技法などについて映像資料を基に、より実践的な学びを進めていきます。



保健体育科教員をめざす場合

現職の教員をキャンパスに招いて実技指導や講演会を開催するなど、教員採用サポートが充実！



将来の職業イメージ例

■ 保健体育科教員(中・高) ■ 小学校教員 など

スポーツと健康コースでは、スポーツの技術指導だけでなく子どもたちが生涯にわたってスポーツに関われるような資質を育てる授業を企画できる教員の育成や学校と地域との連携をコーディネートしたり、子どもたちの悩みにも相談に乗ることができるカウンセラーとしての役割も担える教員養成をめざしています。また、教職相談室では、教員を志望する学生のみなさんを支援するために、教職に関するさまざまな情報を提供しており、学校現場の現状や課題を熟知した実務経験豊富な担当教員が教員採用試験に向けてのアドバイスや教員採用試験模擬面接を行っています。



DATA

教員免許取得者数
※2026年3月卒業生実績

中学校教諭
一種免許状

45人

高等学校教諭
一種免許状

49人

教員採用試験合格者数
※2026年3月卒業生実績

7人

福祉と健康コース

福祉と健康コースでは、これまでの社会福祉のあり方や実践を人間の生活環境と健康との関係からとらえ直し、地域コミュニティにおける福祉文化の構築などの諸課題の解決に挑んでいきます。社会福祉に関する基礎理論と実践的なアプローチから福祉専門職として個人や家庭の生活課題の解決を支援し、福祉コミュニティ創りに寄与できるソーシャルワーカーを養成します。



PICK UP 講義

ソーシャルワーク演習

この講義では、社会福祉専門職に求められる相談援助に必要な知識と技術を学びます。児童虐待や高齢者の在宅介護など、相談援助における課題別のケース検討を通して、基本的視点やアプローチを学ぶとともに、少人数でのワークを通じて、援助過程の理解を深めます。最終的には総合的かつ包括的な実践活動に必要な知識の習得をめざします。



高齢者福祉論

日本では、諸外国と比較しても急速なスピードで人口高齢化が進行しており、介護問題をはじめとするさまざまな問題が発生しています。人口高齢化の要因とその社会的影響、高齢者の生活実態、介護予防、認知症ケア、高齢者福祉・介護制度の発展過程、介護保険制度など、日々刻々とニーズが増大する高齢者支援について検討し、高齢者保健福祉の基本的知識を学びます。



子ども家庭福祉論

子どもが生まれながらに備えている「生きる力」を伸ばす支援をするために、今の親子が置かれている虐待や貧困、障がい、待機児童といった社会状況について学んでいきます。また「子ども家庭福祉」という概念が出てきた背景や内容、政策動向などについて理解を深めます。



福祉と健康コース 4年次生
名倉 彩未さん
愛知/名古屋市立菊里高校出身

学びを現場で生かし、福祉を変えていく一員になりたい。

人を支える仕事に就きたいと思い、人間健康学部へ入学しました。当初は知り合いがいなくて不安でしたが、協調性のある人が多く、グループワークを通してすぐに打ち解けられました。また、知識を学ぶだけでなく自分で考えを深め、意見交換を重ねることで発信力を身に付けることができました。ボランティアへの参加、ガイドヘルパーや保育士の資格取得、4年次に経験したカナダへの短期留学など、積極的に行動できた4年間でした。卒業後は社会福祉士の資格を取得した上で福祉系企業に勤めます。高齢者はもとより、児童や外国籍の人などさまざまな方に福祉サービスを提供する一員として、困っている方々をサポートしていきたいです。

人と関わる中で視野が広がり、福祉の可能性を追求する力が身に付きました。



▶ 名倉さんの4年間の学び

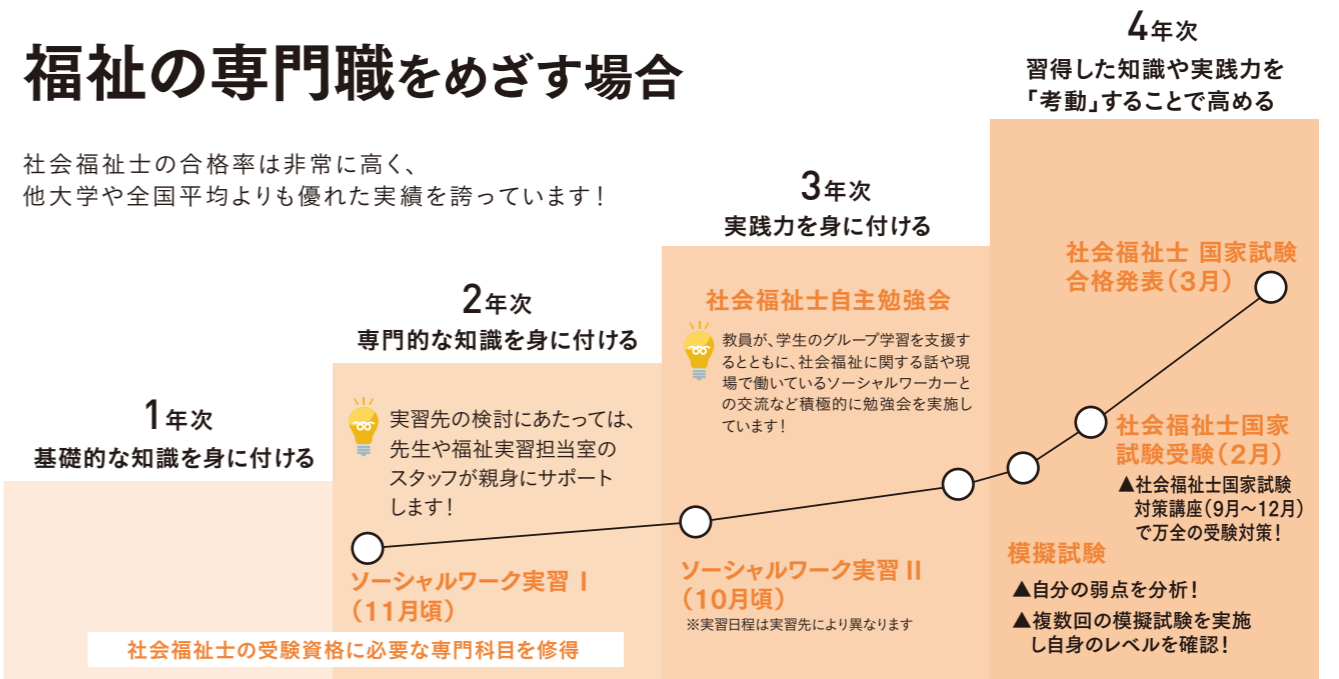
1年次	2年次	3年次	4年次
<p>子ども食堂に携わり、福祉の現場を知る第一歩に。</p> <p>当事者福祉論という授業でゲストスピーカーの話きっかけに、子ども食堂のボランティアに参加。子どもたちの居場所を作る活動に感銘を受けるとともに、生活力を育てる場でもあることを実感しました。</p>	<p>インドネシア視察で価値観が大きく変わった。</p> <p>児童養護施設がある村に5日間滞在。ハードな環境でしたが、子どもたちのキラキラした笑顔が印象的でした。自分の価値観が大きく変わり、独学で保育士の資格を取得することにつながりました。</p>	<p>ソーシャルワーク実習でさまざまな人生のあり方に触れる。</p> <p>市役所の福祉課で1カ月間の実習を経験。生活保護の受給者の方を訪問し、生活歴のファイルを見て、さまざまな人生があることを知りました。また、福祉系の企業のインターンにも参加し、11月に無事内定をいただきました。</p>	<p>子どもの外遊びをテーマに卒業論文をまとめる。</p> <p>「ケイドロ(警泥)」という遊びから見る外遊びの変化」について研究。子ども食堂で3世代にアンケートを実施し、外遊びの場所の減少やスマホの普及など現代の課題を明らかにし、提案をまとめました。</p>

名倉さんの時間割をwebでも紹介しています。



福祉の専門職をめざす場合

社会福祉士の合格率は非常に高く、他大学や全国平均よりも優れた実績を誇っています！



将来の職業イメージ例

- 社会福祉専門職
- 福祉関連企業 など

福祉と健康コースでは、一定の要件を満たせば社会福祉士国家試験の受験資格を取得することができ、国家試験対策のための講座や自主勉強会も定期的で開催しています。福祉実習担当室では、社会福祉士をめざす学生のみなさんがスムーズに安心して国家試験の受験に必要な実習が行えるよう、専門スタッフが全面的にサポートしており、手続きや各種情報提供などを行っています。



DATA



社会福祉士国家試験合格率

97.8%

46人が合格

※2026年3月卒業生実績

人間健康学部のカリキュラム

＼ 心、からだ、くらしの健幸を実現 /



人間健康学プログラム群

4つの副専攻プログラムから自分の興味や目標に応じて専門性を高めるために、授業科目を自由に受講することができます。

人間関係学プログラム	ユーモア学プログラム	地域デザイン学プログラム	臨床心理学プログラム
レクリエーションなどの体験学習法と、ソーシャルワークなどの社会福祉学に関する科目を学びます。	健やかで幸せな暮らしを構成するユーモアと笑いについて、その特徴と機能を専門的に学びます。	グローバル化する世界の動向を踏まえて、地域社会に根差してローカルに活躍できる人材を育成します。	臨床心理学の基礎から多様な分野での応用まで幅広く学び、「こころの健康」について理解を深めます。
科目例 人間関係学入門、コーチング論、レクリエーション支援論、コミュニケーション演習、体験学習法特別演習 など	科目例 ユーモア学入門、笑いの文学、笑いの民俗学、レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ など	科目例 地域デザイン学入門、スポーツ文化論、スポーツ経営学、国際健康福祉実習(各テーマ) など	科目例 臨床心理学入門Ⅰ・Ⅱ、スポーツ心理学、福祉臨床心理学、臨床心理実習、ストレスとセルフコントロール など

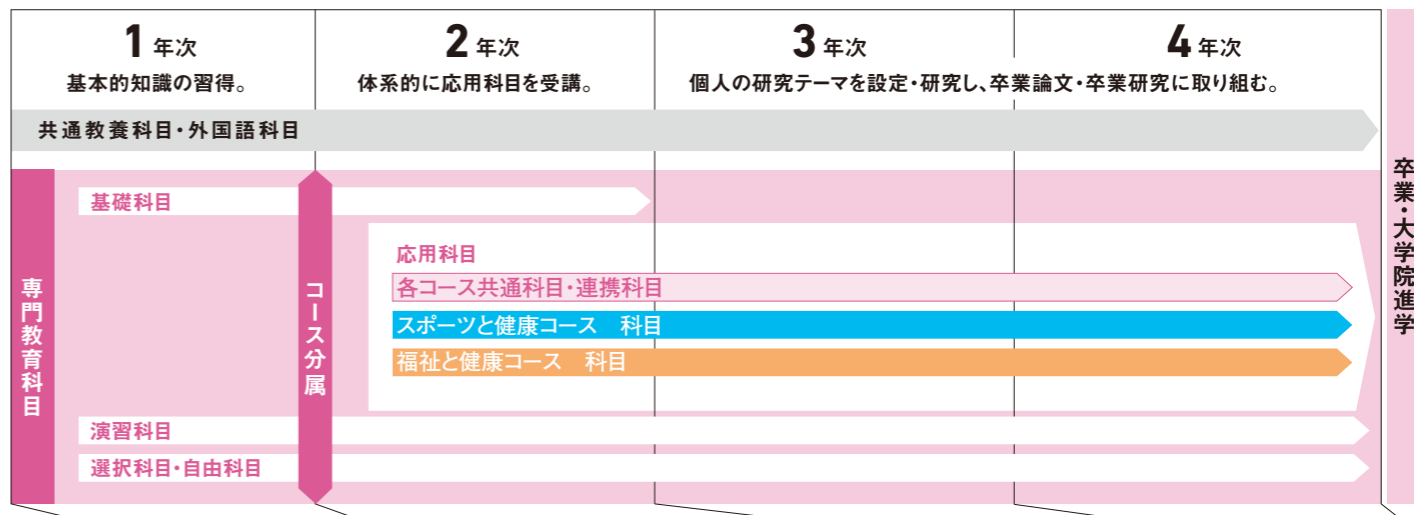
国際的な学び

選択科目 人間健康学部独自の国際留学プログラムは、**国際健康福祉実習**・**人間健康学海外研修** (共に選択科目)で展開しています。

国際部の留学プログラムについて詳しくはコチラ!

国際健康福祉実習	人間健康学海外研修
<p>ハワイ ※2025年度実績</p> <p>現地大学での健康福祉の講義や社会福祉施設の見学、レクリエーション・プログラムなど、地域福祉の現状を体験的に学びます。</p>	<p>インドネシア ※2025年度実績</p> <p>現地学生と児童養護施設の施設改善プロジェクトへ参加し、日本語授業やスポーツを通して現地の高校生と交流を通じてグローバルな視野を養います。</p>
<p>スウェーデン ※2025年度実績</p> <p>福祉先進国スウェーデンの福祉関連施設の見学や政策に関する講義、障がい者武道プログラムを通してその実態と国際福祉について体験的に学んでいきます。</p>	<p>ニュージーランド ※2026年度渡航予定</p> <p>ニュージーランドにおける社会福祉・子ども支援・障害者支援の実践を題材に、マオリ文化を基盤とした福祉の理念や制度、現場での体験的学びを通して、多文化共生と人間健康について国際的視点から理解を深めます。</p>
<p>インドネシア ※2026年度渡航予定</p> <p>韓国における社会福祉制度や実践、福祉施設の見学や総合社会福祉館での実習を通して、多文化社会のあり方と国際的なWell-beingについて体験的に学び、グローバルな視点から福祉を理解する力を養います。</p>	<p>大韓民国 ※2026年度渡航予定</p> <p>韓国における社会福祉制度や実践、福祉施設の見学や総合社会福祉館での実習を通して、多文化社会のあり方と国際的なWell-beingについて体験的に学び、グローバルな視点から福祉を理解する力を養います。</p>

学びのプロセス



基礎科目	各コース共通	人間健康論 スポーツと健康 健康支援の社会システム 社会福祉概論 こころ・からだ・くらしとウェルビーイング 身体表現と健康 健康の文化史 体育史	こころと健康 衛生学及び公衆衛生学 社会福祉概論 医学一般 当事者福祉論 精神保健福祉論 臨床心理学入門Ⅰ・Ⅱ	スポーツ生理学 救急安全法 社会福祉政策Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ ユーモア学入門 笑い与健康 人間関係学入門	地域デザイン学入門 スポーツ教育学 メディアスポーツ論 多文化共生と人間健康 異文化理解とコミュニケーション フィールドで学ぶ多文化演習 多文化共修実践演習	多文化共修フィールドワーク(各テーマ) 国際健康運動実習(各テーマ) グローバルスポーツデザイン演習
	各コース共通	(からだと健康を考える) スポーツ原理 スポーツ栄養学 運動処方論 体験学習法特別演習 体力科学	(こころと健康を考える) スポーツ心理学 身心教育学 身体表現論 武道論 学びの身心技法 福祉臨床心理学 生種心理学 共感と多様性 メンタルヘルスと臨床心理学 地域支援と心理学 臨床心理学特定課題Ⅰ・Ⅱ	(くらしと健康を考える) 身体の文化人類学 人間行動論 笑いの文学 笑いの民俗学 笑いの行動学 リハビリテーション論 フィールド調査法 家族福祉論 臨床死生学 コミュニケーション演習 社会調査法 介護概論	(こころと健康を考える) 身体文化論 心理学演習 子育て支援の心理学 臨床心理学特定課題Ⅲ・Ⅳ (くらしと健康を考える) 福祉レクリエーション論 老人・障害者の理解 ユーモアコミュニケーション演習	
応用科目	健康コース	スポーツ運動学 スポーツ社会学 スポーツ経営学 スポーツ医学 学校保健	生涯スポーツ論 スポーツ感性学 コーチング論 スポーツ文化論 スポーツ動作の仕組みと制御	レクリエーション支援論 トレーニング論 スポーツジャーナリズム論	スポーツ方法学 障害者スポーツ論 スポーツ統計学 地域スポーツデザイン論	
	福祉と健康コース	ソーシャルワーク論Ⅲ～Ⅵ 高齢者福祉論 子ども家庭福祉論 障害者福祉論 公的扶助論	地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 医療福祉論		社会福祉経営論 司法福祉 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 社会起業論 社会福祉調査法	
専門教育科目	連携科目	テーマ研究Ⅰ・Ⅱ(各テーマ)				
	演習科目	導入演習	基礎演習		専門演習Ⅰ・Ⅱ	卒業演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究 卒業論文
選択科目	スポーツ方法実習Ⅹ(球技2) 寄附講座(各テーマ) 臨床心理実習 国際健康福祉実習(各テーマ) 人間健康学海外研修(各テーマ)	スポーツ方法実習Ⅰ(陸上競技) スポーツ方法実習Ⅲ(器械運動) スポーツ方法実習Ⅶ(ダンス) スポーツ方法実習Ⅷ(球技1) 野外教育実習(野外活動) トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ 健康運動実習Ⅰ・Ⅱ レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 身体表現Ⅰ・Ⅱ 運動処方実習 予防医学 ストレスとセルフコントロール カウンセリング心理学Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅰa・b ソーシャルワーク実習指導Ⅰa・b ソーシャルワーク実習Ⅰ	スポーツ方法実習Ⅱ(水泳) スポーツ方法実習Ⅳ(武道1) スポーツ方法実習Ⅴ(武道2) スポーツ方法実習Ⅹ(球技3) スポーツ方法実習Ⅺ(球技4) 地域スポーツ実習 実技研究 健康運動指導演習 野外活動特別演習 増進科学演習 複雑性社会における自己実現 カウンセリング心理学Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ(各テーマ)	ソーシャルワーク演習Ⅲ 社会福祉制度研究Ⅲ・Ⅳ(各テーマ)	
	国際健康福祉論(各テーマ)					
自由科目	教職概説 教育原理	教育制度論 人権教育論 教育心理学 特別活動論 道徳教育の理論と方法 教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用を含む) 教育相談論	保健体育科教育法(一)・(二) 学校経営と学校図書館 情報資源組織論 図書館情報資源概論 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	特別支援教育論 カリキュラム開発論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前指導 保健体育科教育法(三)・(四)	教育実習(一)・(二) 教職実践演習(中等)	

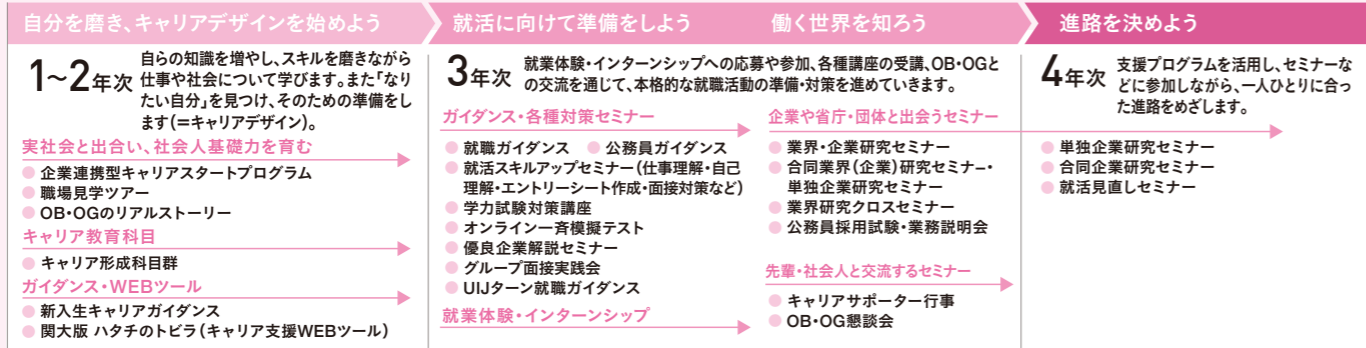
●人間関係学プログラム ●ユーモア学プログラム ●地域デザイン学プログラム ●臨床心理学プログラム ※このカリキュラムは2026年度のもので、※公認心理師等の資格を取得できるプログラムではありません。

キャリアデザイン

充実したキャリアサポート

キャリアデザインとは、自分がどのように仕事(キャリア)と関わり合っていくのかを構想(デザイン)することです。人間健康学部で「健幸」を学ぶことは、社会のさまざまなフィールドで活躍するために必要な広い視野、そして実践的な知識を獲得することにつながります。

▶ キャリア形成、就職活動支援プログラム



▶ キャリアセンター堺キャンパス分室



キャリアデザインをサポートするため、就職や進路選択に関するさまざまなキャリア、就職支援プログラムを実施

人間健康学部生の就職・進路相談の拠点。就職支援プログラムの実施や各種情報提供を行っています。学生一人ひとりに対して親身になって相談に乗ってくれる専門スタッフが常駐しています。相談は対面またはオンラインでの利用が可能です。

人間健康学部で取得できる資格

■ スポーツと健康コースで取得できる資格 ■ 福祉と健康コースで取得できる資格

- 社会福祉士国家試験 受験資格※1
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※3
- レクリエーション・インストラクター
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 健康運動指導士 受験資格
- 初級バラスポーツ指導員
- 司書教諭※2
- 健康運動実践指導者 受験資格

※1 福祉と健康コースの定員は100名です。 ※2 司書教諭の資格取得に関する科目を履修する場合は、千里山キャンパスでの受講が必要です。 ※3 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

任用資格(公務員として採用され、特定の職業ないし職位に任用されるための資格)

- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 身体障害者福祉司
- 知的障害者福祉司

取得できる資格の一例

公認スポーツ指導者

活躍できる職種 総合型地域スポーツクラブ、学校など

認定団体:公益財団法人 日本スポーツ協会

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンターの考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する資格です。

健康運動指導士・健康運動実践指導者

活躍できる職種 フィットネスクラブ、病院、介護老人保健・福祉施設など

認定団体:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

保健医療関係者と連携し、個々人に対応した運動プログラムを作成する(健康運動指導士)、医学的基礎知識に基づき健康づくりのための運動プログラム実践指導を行う(健康運動実践指導者)といった活動を通じ、その知識・技能を生かして人のサポートをする資格です。

レクリエーション・インストラクター

活躍できる職種 幼児保育・学校、高齢者福祉施設など

認定団体:公益財団法人 日本レクリエーション協会

子どもから高齢者まで幅広い対象に向けて、スポーツや集団遊び、野外活動といったレクリエーション活動を効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった「こころの元気づくり」を行う資格です。

初級バラスポーツ指導員

活躍できる職種 地域スポーツクラブ、学校など

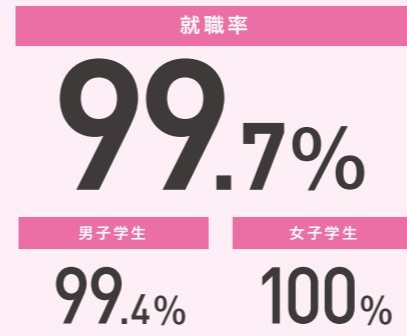
認定団体:公益財団法人 日本バラスポーツ協会

障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援したり、健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える資格です。

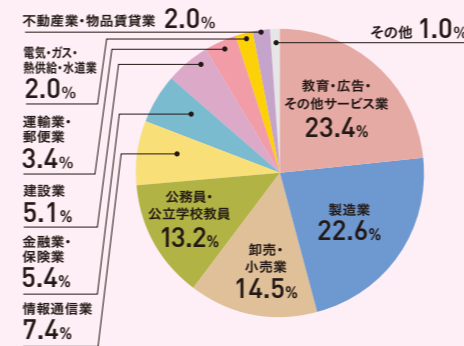
就職実績

人間健康学部の2025年度就職率は、99.7%(男子99.4%、女子100%)と、例年通り高い実績を上げることが出来ました。公務員・教員採用試験や社会福祉士合格者も多く、学部での学びを生かした就職・進路をとる者が多いのが特徴です。

▶ 就職率



▶ 業種別就職状況



▶ 卒業生の就職先一例(2025年度卒業生実績)

※企業・団体の名称は、2026年4月現在のものによる。

教育・広告・その他サービス業(私立学校教員含む)	愛仁会、明石市社会福祉協議会、イオンデライト、市原うぐいす会、大阪府立病院機構、コナミスポーツ、JTB、聖徳園、水仙福祉会、聖隷福祉事業団、たちばな会、東京聖学院、日本福祉サービス、パーソルテンプスタッフ、パソナグループ、阪急交通社、ベネッセスタイルケア、みわやま福祉会、ユー・エス・ジェイ、ライフサポート協会
製造業	アイリスオーヤマ、伊藤園、NTN、王子ホールディングス、大塚製薬、オリエンタルモーター、カナデビア、キーエンス、クボタ、コクヨ、三甲、三和シャッター工業、ジェイテクト、シスメックス、スズキ、住友電気工業、積水化学工業、ゼネラル、象印マホービン、大同特殊鋼、ダイハツ工業、帝人、デンソーテン、東芝テック、TOTO、豊田合成、豊田自動織機、ナリコマグループ、日本化薬、ノビア、パナソニックハウジングソリューションズ、日立製作所、マキタ、山崎製パン、雪印メグミルク、ライオン、ワコール
卸売・小売業	岩谷産業、花王グループカスターマーマーケティング、クスリのアオキ、コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング、コスモス薬品、双日、トーカイ、ニトリ、ファーストリテイリンググループ、ヤナセ、山善、ヨドバシカメラ、渡辺パイプ
公務員	国税専門官、東京都職員、大阪府職員、和歌山県職員、京都市職員、大阪市職員、堺市職員、神戸市職員、東京都特別区職員、和泉市職員、大阪狭山市職員、東大阪市職員、岸和田市職員、豊中市職員、寝屋川市職員、加東市職員、大阪府教員、大阪市教員、和泉市教員、兵庫県教員、鳥取県教員、愛媛県教員、高知市教員、警視庁、石川県警察官、徳島県警察官、東京消防庁
情報通信業	NECソリューションイノベータ、大塚商会、オービック、JCOM、Sky、日本アイ・ビー・エム、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン
金融業・保険業	SBIホールディングス、関西みらい銀行、かんぽ生命保険、住友生命保険、ソニー生命保険、第四北越銀行、日本生命保険、みずほフィナンシャルグループ、ゆうちょ銀行
建設業	一条工務店、きんでん、積水ハウス
運輸業・郵便業	大阪市高速電気軌道、山九、名古屋鉄道、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日鉄物流
電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力、メタウォーター
不動産業・物品賃貸業	阪急阪神不動産、三井不動産リアルティ
その他	国立病院機構、日本年金機構

卒業生インタビュー

教員や社会福祉専門職はもちろん、人間健康学部の学部生は、「健幸(well-being)」に関する幅広い知識と地域連携活動による実践的な学びを生かし、さまざまな分野で活躍しています。



2019年3月
スポーツと健康コース 卒業
藤井 貫太郎さん
(大阪/私立大阪高等学校出身)

株式会社レクサー 勤務

健康課題の解決に貢献するパーソナルトレーナーとして活動しています。

フリーランスのパーソナルトレーナーとして、一人ひとりの身体特性や目的に応じた完全オーダーメイドのトレーニングプログラムを提供しています。自身のボディビル競技経験を生かし、一般の方のボディメイクから競技者向けの身体づくり、コンディショニング指導まで幅広く対応。さらにフリーランスという立場で、内科医院での運動処方への関与、学生への出張トレーニング指導、ボディメイクコンテスト競技者への個別セッション、セミナー開催など、多様な分野で活動しています。

現在に生きている在学中の経験は?

パーソナルトレーナーは、クライアント一人ひとりの関係を深く築きながらアプローチを行う職業です。在学3年次から始まった、チームビルディングを軸としたゼミ活動を通して得た経験が、今の仕事に特に生きていると感じます。



おすすめの授業

スポーツ心理学

身体の理解は、人の理解につながることを学びました

競技者としてのメンタルコントロールや、利用者のモチベーション支援に直結しており、今でも学びが続いていると感じます。身体だけでなく心・行動・生活習慣をトータルで支援する視点は、現在のお客様指導にそのまま生きています。



受験生へのアドバイス

「自分の「好き」を深掘りしてください」

興味のあることには遠慮せず挑戦し、失敗や試行錯誤も含めて経験値を増やしておくことが、卒業後の大きな力になります。ぜひ、自分の「好き」や「得意」を深掘りしながら、新しい自分を見つけてください。



2025年3月
福祉と健康コース 卒業
佐竹 稚奈さん
(岐阜/私立聖マリア女学院高等学校出身)

社会福祉法人海の子学園 入舟寮 勤務

子どもたちが安全・安心に暮らせる居場所づくりをめざしています。

児童養護施設の児童指導員として、保護者と暮らすのが難しくなった子どもたちの生活を支援しています。環境整備、食事の準備、学習支援、通院の付き添いなどを行い、保護者の方や学校教諭と連携しながら、子どもたちが安全・安心な生活を送れるように支えています。最初は警戒していた子どもたちと同じ時間を過ごしていく中で打ち解け、自分も楽しいと思える居場所をつくっていくところ、子どもたちの成長を感じられるところが魅力です。

現在に生きている在学中の経験は?

グループワークでのアイスブレイクや対人援助の学びは、子どもとの信頼関係づくりや言動の背景を考える視点として、現場での支援に生かされています。



おすすめの授業

ソーシャルワーク実習

仲間とともに悩みを乗り越える貴重な経験ができました

今の職業を選んだきっかけになった実習科目です。実習を通してさまざまな悩みを抱き、それを先生やグループの仲間と共有して乗り越えていくという、なかなか得られない経験ができました。



受験生へのアドバイス

「幅広い学びはどの職業でも役立ちます」

福祉だけでなく、身体やこころのことなど広く学べるので、どの職業についてもきつと役立つ知識を得られます。先生方と距離が近く、何か悩みがあってもすぐに相談できるのがこの学部のいいところです。

キャンパスカレンダー

人間健康学部でのキャンパスライフでは、
自分の目標にチャレンジし、地域や世界と関わる機会に満ちています。
さまざまな学びと体験を通して、自分らしい進路を切り拓いてください！

▶ 人間健康学部の1年(2026年度予定) 行事日程等は年度により変動します
▶ 両コース ▶ スポーツと健康コース ▶ 福祉と健康コース

4月	春学期授業期間(4月上旬～7月下旬)	▶ 入学式(千里山) ▶ 新入生指導行事(堺) ▶ 新入生オリエンテーション(上旬)
5月		▶ 教育実習(中旬～実習先によって異なる)
6月		▶ 堺キャンパス祭(下旬)
7月	▶ 春学期末定期試験(下旬) ★サマーキャンパス堺(オープンキャンパス)	
8月	夏季休業(8月上旬～9月20日)	▶ 国際健康福祉実習(大韓民国/参加希望者のみ) ▶ 人間健康学海外研修(インドネシア・ニュージーランド/参加希望者のみ)
9・10月	秋学期授業期間(9月21日～1月下旬)	★チャレンジキャンパス堺(オープンキャンパス) ▶ 社会福祉士国家試験対策講座開始(9月) ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(10月)
11月		▶ 統一学園祭(千里山)(上旬) ▶ ソーシャルワーク実習開始(10月～11月下旬) 2年次(60時間)、3年次(180時間)のソーシャルワーク実習を行います。 ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(11月)
12月		▶ 社会福祉士国家試験直前対策講座 ▶ 卒業論文提出・卒論発表会 ▶ 社会福祉士国家試験模擬試験(12月)
1月		▶ 秋学期末定期試験(下旬) ▶ 研究成果報告会(卒業研究)
2月	春季休業(2月上旬～3月31日)	▶ 国際健康福祉実習(ハワイ・インドネシア・スウェーデン/参加希望者のみ) ▶ 社会福祉士国家試験
3月		▶ 卒業式(千里山)・学位記授与式(堺)(中旬)

SAKAI CAMPUS 堺キャンパス



A 運動・スポーツ科学実験室	E トレーニングルーム(Fitness Crew)
B ケアワーク実習室	F 体育館(アリーナ、格技・実習教室)
C ラーニング・commons	G 体験学習エリア
D 図書館	堺キャンパスのさらに詳しい施設情報は こちらから!

堺キャンパス蔵書数 **57,901冊** ※2025年3月現在

▶ 大学院人間健康研究科について

スポーツと社会福祉の研究を通じて、
人間と社会の健康づくりに貢献する

本研究科では、既存の体育・スポーツ系研究機関が主目的としてきたスポーツ競技力の向上だけでなく、身体活動やスポーツ、そして福祉のソーシャルワークを通じて人間の健康や幸福の促進をめざす研究や実践を重視しています。これは、健康増進法やスポーツ基本法、また社会福祉法などの理念とも通じており、スポーツとソーシャルワークの2つの観点から健康(health)と健幸(well-being)を地域社会で実現することをめざすものです。本研究科ではスポーツおよびソーシャルワークを通じた社会関係資本の蓄積や、健康増進および健康福祉支援事業の実践を推進できるような人材を育成します。中学校・高等学校の保健体育科専修免許状をもつ指導的教員や、関連分野における高度専門職業人を養成し、さらにはNPOやNGOといった市民活動のリーダーを輩出することが目標です。同時に、社会問題を解決に導くのに必要な学際的な視野と実践力をもった研究者を育てます。

教員紹介

人間健康学部の専任教員と主な研究分野をご紹介します。

スポーツと健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例

神谷 拓 教授 ■ 体育科教育学 ■ スポーツ教育学 ■ 運動部活動における自治集団活動の意義と課題 ■ 異質協同のグループ学習の分析-中学校の水泳授業を対象にして-	小室 弘毅 教授 ■ ホリスティック教育学 ■ 身心教育学 ■ 日本の健康至上主義を問い直す-幸福な国々の「死生観」から見る健康- ■ 生きるためのファッション-ファッションを読む- ■ 見えない空気を考える-エンタメにおける人の雰囲気と場の空気-
志岐 幸子 教授 ■ 感性論 ■ スポーツ感性学 ■ プロ野球におけるユニフォームの色彩と競技成績 ■ ソフトダーツ競技におけるゾーン状態時と平常時の脳血流量の比較検討	澁谷 顕一 教授 ■ 運動生理学 ■ スポーツ栄養学 ■ 認知科学 ■ 運動時の筋疲労に関する研究 ■ 競技パフォーマンスと栄養摂取に関する研究 ■ 外的刺激がヒトの認知に与える影響についての研究
谷所 慶 教授 ■ 健康・スポーツ科学 ■ レジャースポーツの指導に関する調査 ■ 運動習慣やトレーニングが腎臓形状に及ぼす影響	灘 英世 教授 ■ 救急安全 ■ 自然環境が、脳と心理状態に与えるポジティブな影響 ■ 高校生の部活動が学習習慣や生活習慣に与える影響
西山 哲郎 教授 ■ スポーツ社会学 ■ 文化社会学 ■ 日本のプロ野球とスポーツメディア ■ 競泳を「見るスポーツ」として普及させるための大会企画	原田 純子 教授 ■ 舞踊教育学 ■ 舞踊学 ■ 創作ダンスの体験における変化と成長 ■ 授業における質問紙調査と作舞体験より ■ 舞踊作品における衣装の役割
彦次 佳 教授 ■ スポーツ老年学 ■ スポーツプロモーション ■ スポーツ社会学 ■ 野球クラブへの愛着がプレーに及ぼす影響について ■ 高齢者の健康状態と足の状態の関連性について ■ アップ中の音楽鑑賞が選手の心理的競技能力と心理状態に与える影響	村川 治彦 教授 ■ 宗教学 ■ 身体文化論 ■ 屋台を通して地域交流~大学周辺の浅香山地域の問題解決と共に~ ■ 生態系を守る協生農法の実践~持続可能な農業を目指して
森 仁志 教授 ■ 文化人類学 ■ 文化史 ■ 革新的なアイデアを生み出す方法 ■ 女子サッカーの普及-セレッソ大阪堺レディース-プロジェクト-	安田 忠典 教授 ■ 人間健康論 ■ 多文化共生社会の実現に向けて~大学生による国際交流イベントの開催 ■ 南海電鉄との協働による社会課題解決への挑戦
涌井 忠昭 教授 ■ 健康・スポーツ科学 ■ レクリエーション ■ レクリエーション活動が認知症高齢者に及ぼす効果 ■ レクリエーション活動が大学生の身体活動量、ストレス、気分および体調に及ぼす影響	佐野 加奈絵 准教授 ■ 骨格筋メカニクス ■ スポーツバイオメカニクス ■ 運動学 ■ 競技種目や役割の違いが下肢筋形に及ぼす影響 ■ 長距離選手の高い走効率を可能とする走動作の特徴

福祉と健康コース

■ 研究分野 ■ 学生の研究テーマ例

植田 紀美子 教授 ■ 公衆衛生学(障がい児者) ■ 小児臨床遺伝学 ■ 母子保健学 ■ 障がいのある方やそのご家族の心身の健康と生活 ■ マルトリートメントからみた妊娠からの子育て支援	岡田 忠克 教授 ■ 社会福祉政策 ■ 社会福祉協議会から見る地域の特性とこれからの課題 ■ 児童虐待防止に向けて~親子の支援と家族再統合の必要性~	種橋 征子 教授 ■ 高齢者福祉 ■ 介護福祉 ■ 福祉経営 ■ 認知症高齢者と家族の支援 ■ 介護職員の働きやすさ	所 めぐみ 教授 ■ 地域福祉論 ■ ソーシャルワーク ■ 福祉教育 ■ 人と人がつながる地域づくりを目指した福祉教育のありかた ~和歌山県有田市のフィールドワークから~ ■ 再犯者に対する自立支援の考察-特別調整支援を受ける高齢出所者の語りから考える-
西川 知亨 教授 ■ 福祉社会学 ■ 社会病理学 ■ 社会的相互作用論 ■ ソーシャルワークにおける監視とコントロールの権力論 ■ アクション・パトリアニメから見る日本の死生観	福田 公教 教授 ■ 社会福祉学 ■ 子ども家庭福祉論 ■ 吃音理解を深める福祉教育の役割-現状と課題に関する調査研究- ■ ケイド遊びにみる子どもの遊び方の変容 ■ 実親と暮らさない障害児における里親養育の意義と可能性	姜 民護 准教授 ■ こども家庭福祉学 ■ ソーシャルワーク ■ 家族社会学 ■ 不登校支援のあり方-日韓比較を通して- ■ ヤングケアラー家族における親の苦勞と支援について	森田 亜矢子 准教授 ■ 心理学 ■ 人間科学 ■ 広義のWell-beingや健康に関わる主題として社会的支援や音楽などが選ばれています

心理学系

■ 研究分野

岡田 弘司 教授 ■ 臨床心理学・臨床心理学的アプローチ	香川 香 教授 ■ 臨床心理学 ■ メンタルヘルス	小海 宏之 教授 ■ 臨床心理学 ■ 神経心理学
千賀 則史 教授 ■ 臨床心理学 ■ 心理療法統合 ■ 統合的アプローチ	中田 行重 教授 ■ 臨床心理学 ■ ロジャース派の心理療法・心理カウンセリング	

多文化共修科目

■ 研究分野

マークオート ゼルダ 特別任命助教 ■ 総合生存学
